

交通事故被害者の必須知識を解説 - 後遺障害・死亡事故の専門弁護士

事故被害者が慰謝料請求で損をしないための知識を無料小冊子と動画で解説。jiko-sos.jp

① ×

開く

長野県のニュース

[長野県のニュース](#)
1月15日
記事詳細

あの日の思い 届ける祈り 軽井沢のバス事故3年

ツイート [いいね! 19](#) [シェア](#) [G+](#)

大学生ら15人が死亡、26人が重軽傷を負った北佐久郡軽井沢町のスキーバス転落事故は15日、発生から3年を迎えた。事故の発生時刻前後の未明には、犠牲者の関係者や、バスを運行した「イーエスピー」（東京都羽村市）の高橋美作（みさく）社長（57）が慰霊のため現場を訪問。日が昇ると遺族の知人や行政関係者、地元住民らが相次いで訪れ、現場に建立された慰霊碑「祈りの碑」の周囲は鎮魂の祈りに包まれた。



事故現場を訪れ、花束を手向ける女性 = 15日午前9時21分、軽井沢町

午前1時52分ごろの事故発生時刻の直前には、犠牲になった西堀響（ひびき）さん=当時（19）、東京外語大1年=の知人男性（32）が訪問。祈りの碑に手を合わせた。「勉強を頑張っている姿を見て、思い出に残る子だった。少しでも現場に来て手を合わせたいと…」と言葉少なだった。

高橋社長は同4時50分ごろに献花。「事故から3年の命日。改めてまして事故でお亡くなりになりました乗客の13人の皆さまに、心よりご冥福をお祈り申し上げます」とし、遺族らへの謝罪を述べた。

夜が明けると、友人らが次々と訪れた。亡くなった法政大生の友人という女性は、寂しそうな表情で碑を見つめ、事故現場に向かって手を合わせた。妻や次男を別の交通事故で亡くしたという同郡御代田町の奥田民男さん（78）は、亡くなった大学生13人分の造花を供えた。バス事故などを受け、人工知能（AI）開発に関する助成団体を設立したという群馬県の技師赤羽輝久さん（50）は「経験や勘に頼る運転をやめる社会にしたい。運転の自動化で事故がなくなればいい」と願った。

事故当時、倒れたバスをクレーン車で起こした小諸市のロードサービス会社「レッカーサービス110」の加藤幸之助社長（45）は、当時の記憶がいまだに鮮明だとし、「こんな事故は二度と起きてほしくない」と語った。

佐久広域連合消防本部（佐久市）や同本部軽井沢消防署（軽井沢町）の職員も本部や署で黙とう。同本部はバス事故を受け、大事故が発生した際、現場の指揮に急行する職員が24時間体制で待機する「指揮課」を本年度新設した。軽井沢消防署の佐藤一明署長（57）は「事故を教訓に活動していく」と強調した。

藤巻進軽井沢町長、杉本勇一軽井沢警察署長、依田寿男軽井沢交通安全協会会長らも訪れた。

(1月15日)

サイト内検索

日付で探す

<前月		2019年1月			
日	月	火	水	木	金
		1	2	3	4
6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25
27	28	29	30	31	

●長野県 ○国内外

ジャンルで探す

政治	経済
社会	スポーツ
社説	コラム斜面

★ニュースランキング

本日のTop10 (1/16 12:30更新)

- 客のカード情報を不正利用 長野の
- 【速報】御嶽海3連勝 大関の豪栄